

清水氏 再選



再選を決め、万歳三唱する清水氏(中央)と妻明美さん(左)=10日午後8時45分ごろ、いわき市平

渡辺氏ら破る

市政継続、市民が支持

いわき市長選

任期満了に伴ういわき市長選は10日、投票が行われ、即日開票の結果、無所属で現職の清水敏男氏(54)＝1期Ⅱが、いずれも無所属で元職の渡辺敬夫氏(71)、新人の宇佐美登氏(50)を2万票以上の差で破り2期目の当選を果たした。同市長選で現職候補の再選は四家啓助氏が再選した2001(平成13)年以来、現市政の是非が問われる

いわき市長選開票結果

(選管最終、敬称略)

当59,814	清水 敏男	54	無現
37,670	渡辺 敬夫	71	無元
36,411	宇佐美 登	50	無新

【清水敏男氏略歴】日大法卒。市長1期、全国市長会理事、中核市市長会幹事。県議4期、市議2期、衆院議員秘書。いわき市常磐関船町屋津37の19。

とともに、地域医療の再生や人口減対策など、復興を見据えた市の将来像などをどう示せるかが焦点となった。自民党いわき総支部からの推薦を受け組織力で臨んだ清水氏は子育て、まちづくり施策など1期4年の実績を強調、市政継続による復興の前進を訴え、有権者の支持を得た。渡辺氏は現市政が将来を見据えた施策を展開していないとして市政刷新を訴えたが浸透しきれなかった。宇佐美氏は「医療日本一」を掲げて新たな行政の在り方を説いたものの、及ばなかった。投票率は49・13%で前回比2・0%低下。清水氏の2期目の任期は28日から4年。